教科目名　プロジェクト演習Ⅳ　（ Project Seminar Ⅳ ）

学科名・学年　：　専攻科　２年

単位数など　：　選択　１単位　（前期１コマ，学習保証時間 22.5 時間）

担当教員　：　高橋徹，一宮一夫，相本正吾

授業の概要

特別研究の遂行には，論文作成能力，プレゼンテーション能力，ディスカッション能力などが必須である．この教科では縮約練習などにより，論文作成の際に役立つ論理的な思考法や文章構成法を習得する．更に，実践的なディベート方式の授業により，自らの力で考え，表現できる学生を養成する．

達成目標と評価方法　　**大分高専目標(A1)(C1)，JABEE 目標(a)(f)**

(1) 縮約練習を通し，日本語による文章構成法を習得する．(小テスト，定期試験)
(2) 漢字・送り仮名など，日本語の基本について再確認する．(小テスト)
(3) 文章のパラグラフ化を理解し，論文を論理的に構成できる．(定期試験)
(4) 情報を収集し，論理的に自らの考えを構築し，これを表現して討議を行うことができる．(ディベート)
(5) 事実と自らの考え，他者の考えと自らの考えとを区別できる．(ディベート，定期試験)

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1	［日本語表現］ 「日本語練習帳」の解説，縮約練習の説明	教科書「日本語練習帳」の内容を理解する．特に，文章の構成力を身につける上で役立つ「縮約」技術の練習法について学ぶ．	【理解の度合い】
2 ～ 6	縮約練習，解説	新聞の社説など，与えられた文章について縮約を行う．縮約した文章は教員によって評価される．毎回，１００点満点中８０点以上を取ることが望ましい．	
7	「理科系の作文技術」の解説	教科書「理科系の作文技術」の内容に触れる．文章のパラグラフ化について学習する． 2～7 回まで授業の最初に漢字などの小テストを行う．	
8	小テスト	縮約，漢字書き取りなどについて小テストを行う．	
9	パラグラフ化の練習 ［ディベート］ 解説，グループ分け，資料収集， 賛成派・反対派の決定，作戦会議，プレゼンテーション作成	与えられた複数のテーマについてプレゼンテーションおよびディベートを行う．学生は 2～3 名ずつの班に分かれ，それぞれのテーマについて２つの班が賛成派・反対派の立場となりプレゼンテーションおよびディベートを行う．ディベートの判定は，教員およびディベートに参加していない班の学生によって行われる．	【理解の度合い】
10 ～ 12	プレゼン，ディベート		
13	プレゼン，ディベート		
14		9～12 回まで，授業の最初に縮約練習をする．	
15	前期期末試験	小論文，縮約など	【試験の点数】　　点
	前期期末試験の解答と解説		

履修上の注意	縮約練習をする上で必要な国語辞典などを用意すること．	【総合達成度】
教科書	大野 晋，「日本語練習帳」，岩波書店．　木下 是雄，「理科系の作文技術」，中央公論新社．	
参考図書	松本茂，「頭を鍛えるディベート入門」，講談社．	
関連科目	日本語表現法，哲学概説，思想史，卒業研究，特別研究	
総合評価	授業中の小テスト・縮約練習結果・取り組み状況（約７０％）と定期試験（約３０％）により総合評価する．	【総合評価】　　点